

## 第1回岩倉市総合計画審議会 議事要旨

日時：平成27年6月1日（月）午前9時30分から12時

場所：岩倉市役所7階第1委員会室

出席者

委員 千頭委員、小松委員、梅村委員、山田委員、永井委員、吉田委員、小笠原委員、  
伊藤委員、桜井委員、野崎委員、松本委員、丹羽委員、齋竹委員、服部委員、犬原委員  
事務局 市長、副市長、総務部長、行政課長、秘書企画課長、加藤、小出、渡邊  
池田（地域問題研究所）

欠席者 なし

### 【次第】

#### 1 開会

#### 2 委員の任命

- ・委嘱状交付
- ・委員紹介

#### 3 市長あいさつ

#### 4 会長の選出

- ・委員から千頭委員を会長として推薦され、全会一致で選出

#### 5 会長職務代理者の指名

- ・千頭会長より小松委員を指名

#### 6 会長・会長職務代理者あいさつ

会長

- ・5年前も総合計画の策定作業に携わった。前回も一緒に議論した方もいる。
- ・国の指示に基づき全国の市町村で総合戦略を検討している。今後、全体として人口が減少基調のなかで、岩倉のコンパクトさなどの強みを活かす視点をもって中間見直しで今後の方向性を描くことが大事である。

小松会長職務代理者

- ・前回関わらせて頂いてから早くも5年も経過したという印象である。
- ・自分自身、岩倉市だけでなくいくつかの地域で仕事をしているが、ずいぶんと状況が変わってきたと感じている。新しい次の施策につながるようなことを考える必要がある。

## 7 委員自己紹介

### 会長

- ・事前に事務局より、強みと課題について3分で説明して欲しいとの依頼があった。岩倉市ならではの強みや、今後克服すべき課題などについて、どんなことでも構わないので自己紹介を兼ねてご発言をお願いしたい。

### 委員

- ・自分が見聞きしたことを中心に強みを2点お話ししたい。
- ・定年前、他市町で働いてときに、会社の同僚から「岩倉って都会だね」と言われた。駅周辺に公共施設や大型店舗が立地し、都市の要件としての機能性を備えている指摘された。確かに、家から市役所や図書館まで5～10分、また銀行や郵便局も近くて便利で暮しやすい。
- ・もう1点は、定年後に市内の2つの小学校に再任用で働いた時に感じたことである。教職員の頑張りのおかげで、その当方で不登校は0で給食費等の滞納問題もなく、また保護者の雰囲気もとても良かった。このように学校が元気であるということも本市の強みである。今後も教育に力を注いでいくことが課題である。

### 委員

- ・岩倉の強みの一つは大都市に近くて交通が便利であること。小牧市や一宮市に隣接し、空港なども近く立地条件が恵まれている。こうした強みを活かすことで財政力が高まる。
- ・もう一つは、平坦で山もないという自然環境のなかで、災害が少なくまた懸念される災害も少ない点。現在、全国で自然災害が頻発していて苦しい生活に直面している。
- ・問題点は、情報公開が弱いために、岩倉がどういう方向で進んでいくのかが見えにくいこと。桜通線などの基盤整備も必要だが、その後にどのようなまちにしていくのかわからない。とくに市の顔である駅前がさびしい。住宅ができるだけでなく、商業者が集まり賑わいのあるまちづくりにするべきだ。
- ・名古屋市から犬山市までの名鉄犬山線の沿線で、岩倉だけが人口減少している。なぜこれほど住みやすく緊急時にも医療が対応できているまちであるのに、定住者が少ないのか。一つは、調整区域が多いことが要因ではないか。伝法寺や大山寺周辺は利便性が高いのに調整区域のために住宅が建たない。駅周辺にまちが開かれていないので、今後は土地利用の見直しも大事である。

### 委員

- ・現在市内に18の競技団体、21のスポーツ少年団があり、市の施設や学校開放を活用し、市の行事などにも参加しながら活発に活動。活動している。平成26年度で会員は2,754名。
- ・良い点として、交通の要衝にあり物流関連の企業も多い。
- ・ゲリラ豪雨などは懸念されるものの、自然災害も少ない。
- ・五条川をはじめ自然豊かベッドタウンで住みやすい。
- ・体育協会も活動が活発に行われ、運営もしっかりしている。10月には市民体育祭が行われて市民総勢で楽しんでおり、健康づくりと交流を図っている。
- ・課題は、公式の大会等が開催できるスポーツ施設がないこと。また、北小学校の体育館の老朽化など、学校施設全体の老朽化が進んでおり、今後は改善が必要である。

- ・スポーツを通じて健康な市民が増えることが望まれる。

#### 委員

- ・強みとして、名古屋のベットタウンとして交通の便が良いこと、自然、歴史的文化などの遺産が残っていることが挙げられる。
- ・課題は、こうした魅力の外部への情報発信が弱いこと。それによって観光交流の振興を図ることが課題である。
- ・市民団体等が活発に活動していることも印象として強い。ただし、平日の昼間は現役世代が通勤通学で市外へ出ていってしまい、コミュニティの自治力が弱まることが懸念されている。

#### 委員

- ・市役所が近く、市民と行政職員が顔が見える関係にあることが強みである。
- ・現在でも地域のコミュニケーションは活発であり、今後も地域住民で一緒に取り組めることがあるといい。
- ・高齢者問題、福祉、環境など、地域課題への取り組みの成果や課題などの状況を住民や行政が話し合っていくことが大事である。
- ・現在の総合計画に掲げられた「役立ち感」という言葉がいい。年齢が高くなるにつれて高齢者がやることがなくなりがちだが、生涯現役で人の役に立てるということは大事である。
- ・五条川の桜も、現在は保存会が中心となって守っているが、婦人会も含めて今後は大勢の市民が携わって、地域ぐるみで守っていくべきだと思う。

#### 委員

- ・社会福祉協議会では、公益を目的とした社会福祉法人として、7つの支会を中心に各地域の役員や民生委員さんなどのご協力のもとで住民参加を促進し、各地域の実情に応じた住民主体の福祉のまちづくりを推進していくことが課題である。
- ・市と一体となって地域福祉計画を策定しており、この計画の円滑な推進が市民の福祉に貢献できるものと考えている。

#### 委員

- ・昭和47年に市民吹奏楽団を仲間と立ち上げ、昭和53年には文化協会の設立にも関与した。それから約40年にわたり本市の文化振興に関わってきた。
- ・課題は人口が増えていないこと。自分が小中学校の頃に岩倉団地ができて人口が増加し、その後も市になってさらに人口が増えることが予想されたが、その後は人口減少・高齢化が進んでいる。
- ・名古屋市で働いていたときには、可児市や美濃加茂市などの遠方から通勤している人も多かった。調整区域の考え方が、住宅や商業の発展の阻害要因になっているのではないか。例えば、北島は調整区域で家が建たず人口が増えない。市そのものを活性化させるために、人間が住める場所を増やしていく事がまず大事であり、根本的な課題である。
- ・今回の審議会では新しい委員も多いので、前回の議論の経過を知ってもらいたくて5年前の議事録を配布してもらった。文化イベントなどでも、これまでの取組との継続性やつながりがうまくいっていないものもある。また、生涯学習センターで活動する団体と文化協会とのつながりが薄い面もある。団体が市民の文化活動に貢献するための受け皿として文化協会とつながり

を強めてもらうなど、他の団体との調整を進めることが今後の課題である。つまり、いままであるものと新しいものの調整や継続性が求められると考えている。

#### 委員

- ・自分の出身地は金沢市周辺のベッドタウンであったが、そこと同様に五条川の桜や名古屋コーチンといった市独自の魅力がアピールされていないことが課題であると感じている。
- ・長所はやはり立地の良さである。知人から、岩倉駅に特急がとまることが高校生の自慢にもなっていると聞いた。高速インターが近いことも長所だ。
- ・PTAの代表として子どもの教育に関することにも触れたい。南小では、他に例がないほど地域とのつながりがとても強く、先生方も教育に熱心である。
- ・課題は学校施設の老朽化である。子ども達からは、トイレや空調、グウンドが狭い、体育館が古いといった意見が聞かれた。
- ・また、全般的に周辺市町との交流を通じて、本市のPTA活動が遅れていることも感じる。今以上に父兄や教職員が注力すべきである。

#### 委員

- ・長所は交通の便が良い市であること。特急が止まり、中部国際空港までも特急で乗り換えなしで行くことができる。またインターへも近い。
- ・五条川や自然生態園など自然が豊かな点も魅力である。
- ・5つの小学校と2つの中学校、すべての学校で地域住民のボランティアなどによる読み聞かせが行われている。また、一年に1回はボランティア同士の情報交換が行われており、市外からの見学もあるほど、市外にもその活動の実績が伝わっている。小規模のまちだからこそ地域のボランティア活動が活発である。
- ・小学1年生の入学時の壁を打破するために、保育園や幼稚園からスムーズに移行でき、安全に快適に学習できる環境を作ることが大事である。そして、子育てが楽しくできて、母親同士もつながりができ、安心して子育てできるまちとして市外からも子育て世代が移り住んできたくなるまちにしたい。

#### 委員

- ・生活するうえで、やはり名古屋への通勤通学が便利である。
- ・人口が増えない状況はなぜか。世帯数は増えているが人口は減っている。
- ・本市は大空襲の被害を免れたがゆえに、中心部に古い建物が多い。土地の所有者と入居者がバラバラで開発が遅れている。一方で近年では、自分の住んでいる大市場町では建売住宅が増えており、ドーナツ型に外へ開発が広がっていると実感している。まちなかに空き家が増えており、今後は空き家活用などの対策が課題である。老朽化して傾いた家などは近所にとっても危険であるので、行政の指導で所有者への働きかけをお願いしたい。
- ・農用地の利用計画変更によって野寄でもアパートなどが建ってきた。幹線道路沿いの調整区域などは、農用地の利用計画変更をして、住宅や商業施設の立地を促進することが、定住や集客につながるのではないか。
- ・地震などの災害時の避難場所となる防災緑地制度が昨年度に廃止になった。優良農地は、短期的なコスト削減だけでなく、長期的な視点をもって、仮の公共用地として市民のための災害時

の仮設住宅用地や避難場所に活用していくことが大事ではないか。

#### 委員

- ・昭和 50 年に岩倉団地へ移転してきた。当時、子どもを育てる世代として「保育の岩倉」として乳児から支援してもらえることがとても魅力であった。
- ・名古屋までの通勤は大変だったが、平成 5 年に相互乗り入れが始まり利便性が高まった。
- ・児童館での学童保育は充実しており、親が仕事と子育てを両立しやすことを、もっと PR すべき。
- ・昭和 60 年に大山寺に移転したが、最近は高齢者が増えており、地域の清掃活動などでも若い人がいないので力仕事などで苦勞している。
- ・自然観察指導員として子ども達と自然に親しむ活動を行っている。以前から岩倉に生息する昆虫類を調べているが、その数や種類がだんだん減ってきている。主に五条川と農地が生き物の生息場所であるが、近年は農地が虫食いの的に埋め立てられて駐車場やソーラーパネルなどに轉換されている。農業の担い手の高齢化が原因かと思うが、今後も適切に自然を残していくことが課題である。

#### 委員

- ・石仏に住んで 30 数年経つが、あまり変化していいない。
- ・市内 3 つの駅があるが、近年石仏駅にも準急が止まるようになり、名古屋駅まで 17 分で行く。一宮市や小牧市方面からの利用客も多い。駅がバリアフリーでないこと、東口に改札が無くて不便であることが課題である。駅の利便性向上が地域の発展や人口増加に役立つのではないか。住宅用地確保の問題もあるが、まだまだ地域の発展が見込まれる。
- ・徐々に保育園にエアコンの設置が進んでいくが、もっと保育園や小学校での整備を進め、学習環境を整えていく事が大事ではないか。
- ・子どもの友人で独身者も多いので、もっと婚活などに活発に取り組んでほしい。

#### 委員：

- ・小中学校 P T A 連合会の母親代表として 5 年前にも本審議会に参加した。
- ・岩倉の強みとして、小規模で立地条件が良い点が挙げられる。財政面ではそれほど強くはないが、団結力を高めることが比較的容易で機動力がある。官民タッグを組んで結束力を高めやすいことを強みにすべき。市民の市政への関心を高める接着剤が課題。
- ・団地自治会では高齢者の見守り事業を 3 年前から取り組んでいる。若い世代を育てることが重要である。高齢者に対して、公助の充実だけでなく、元気で長生きするための自助・互助など、自ら健康づくりに取り組んでいく事が大事である。
- ・教育や子育てに力を入れて、子ども達の知力を高めていかないとまちは傾く。一人の子どもの影響力はとても大きく、子育ての可能性は無限になる。外から見えるチャレンジを精力的に行ってほしい。とくに、学校施設の老朽化が進んでいることが問題である。東小は和式の古いトイレなどが残っており、学校も古くてエアコンもついていない。こうした教育環境の改善は切実な問題である。
- ・他の自治体の学校と比較されがちである。自治体の財政力の違いが教育の現場の格差につながることは望ましくない。格差解消に市が率先して取り組んでほしい。

- ・ツイッターやフェイスブックなどを活用したイメージ戦略、情報戦略などを、失敗をおそれずもっと積極的にチャレンジしたらどうか。市政も子育てと同様に正解はない。

## 8 総合計画策定経過等について

### (1) 第4次岩倉市総合計画中間見直しに係る基本方針及び策定経過について

【資料1・2について事務局（加藤）より説明】

会長

- ・ご質問などございましたらお願いしたい。

委員

- ・各審議会の開催時間が決まっていたら教えてほしい。

事務局

- ・第2・3・4回は午後2時開会を予定している。第5回は午前9時30分を予定している。会場は本日と同様に7階の委員会室になる。

### (2) 第4次岩倉市総合計画中間見直しの進捗状況について

【資料3～6について事務局（小出）より説明】

会長

- ・資料4の位置付けを教えてほしい。これについても委員から意見がほしいとのことか。

事務局

- ・あくまで参考資料としてご提示している。

会長

- ・交通対策を例に、今後の部会の進め方や検討資料を示していただいた。
- ・全部で48の基本施策を2つの部会にわけて各2回で議論すると、1回あたり12の基本施策を議論する必要がある、時間的にかなり厳しいので進め方の工夫が必要だ。
- ・資料4について、全体の見方などについて何かご質問があればお願いした。
- ・達成状況は、中間年次である平成27年度の目標値に対して平成26年度の実態を踏まえて示されている。未達成だった目標指標については、結果だけみて議論しても不十分であり、むしろその理由を考えることが大事である。到達しえなかった理由や今後の見込みなどについて、各課にも確認して意見を整理しておいてほしい。

委員

- ・達成状況について全部確認して議論するのか。未達成の指標の取り扱いをもう少しきちんと説明してほしい。はじめてなのでわかりにくい。

委員

- ・議論する材料が非常に多い。審議会に形式的に出すだけでは意味がない。もう少し議論する時間を与えてほしい。本日の強み・弱みをどう生かすのか、そこを反映する方法も考えておいてほしい。

委員

- ・現計画を持っていないと理解が難しいので、準備をお願いしたい。

## 委員

- ・とてもタイトなスケジュールなので、評価・検証の分析結果のポイントをまとめてほしい。できたこと・できなかったことなどを整理してもらって、それについて議論したらどうか。指標については数値そのものの議論は難しいし、施策につなげることは難しい。多岐にわたる内容を一つ一つ意見をきいてまとめることは難しいので、ポイントを絞って課題の分析と今後の対応について議論してもらおうべき。
- ・今回の見直し範囲については、基本計画の各論の話をする過程で、将来人口や土地利用に波及する場合もあり、そうした際に見直しについてどう考えるべきか整理しておく必要がある。例えば、市街化調整区域の対応などはその一例である。一切変更しない前提であれば、議論できる内容は限定的になる。人口減少を「問題」と捉えるのか「特性」として考えるのか。
- ・限られた見直し範囲のなかだけで議論するのは、フラストレーションがたまることにもなりかねない。社会経済環境の変化も大きいので、場合によっては見直すべき部分もあるのではないかな。

## 事務局

- ・資料5・6を今後の部会の資料とし、事前に郵送するようにしたい。
- ・そのための庁内の策定委員会は6月から7月に4部会で各4回ずつ議論を予定している。担当する部署だけではなくて、関係する部署による組織体で横断的に議論する。
- ・会議でこの資料をすべて説明するのは難しいので、5年間の成果と積み残しの課題を整理するとともに、指標についても現状値と目標値を示してわかりやすく表現したい。
- ・目標指標の達成状況の理由などについてご説明できるように策定委員会で議論を進めたい。また、審議会においては、必要に応じて担当課も同席させて説明させていただく。
- ・現状と課題については、5年で変わらないものも多い。変更が必要のない部分についても多いので、変更点を中心に議論を行っていただきたい。

## 会長

- ・資料5をみて、このまま変更なしでよいのかという議論が求められる。シートの上半分が基本施策の総括評価が示されている。そこと、単位施策の見直しの方向性がポイントになる。
- ・アンケート調査の結果は、次回に示されることになるのか。

## 事務局

- ・資料4の中にアンケート結果が使われているものもある。そこに「アンケート」と書かれているものは平成26年度に実施したアンケート結果であり、「市民意向調査」は平成25年度に実施したものである。

## 会長

- ・次回の議論の内容を教えておいてほしい。

## 事務局

- ・市長からの諮問にあと、さっそく部会に分かれて計画内容の議論に入って頂く。
- ・次回からは午後2時から約2時間から2時間半程度の時間をお願いしたい。

## 会長

- ・1基本施策10分間かけても約2時間かかる計算になる。効率的な議論のためには、論点を明確

にポイントとして示してもらわないと進行が難しくなる。

委員

- ・11月10日に審議会の議論を終える必要があるのなら、もっと早く招集すべきだ。

委員

- ・形式的な議論の場になりかねない。

委員

- ・あらかじめ振り分けておいてもらって、未達成の分野を中心に今後の課題を示して頂いて議論を進めたらどうか。

会長

- ・順調に達成している施策と課題の多い施策とをメリハリをつけて議論を進めるというご提案かと思う。

委員

- ・すべての基本施策を議論する必要があるのか。

委員

- ・市の方向性をある程度示してもらいたい。基本的には、すべて承認頂いたという形をとる必要があるということかと思う。

会長

- ・ポイントを絞ってメリハリをつけた形で資料を示してほしい。

## 9 その他

特になし